

L A - 3 4
駐在員事務所報告
国 際 部

米国コミュニティカレッジに見る地域教育のあり方

- 生涯を通じて学べる学校 -

日 本 政 策 投 資 銀 行
ロサンゼルス駐在員事務所
2 0 0 1 年 1 1 月

【要旨】

1. 米国には4070校の大学があるが、うちコミュニティカレッジは1166校で、全体の3割を占める。また、米国の大学生のうち、職をもっている学生(パートタイム学生)は全体の42%を占める。コミュニティカレッジに通う学生の46%は25歳以上である。
2. コミュニティカレッジの歴史は1901年、イリノイ州シカゴで設立されたジョリエットジュニアカレッジまでさかのぼる。設立当初は、一般教養の教育が目的であったが、不況や戦争、人口増加などの社会情勢の変化に対応していく中で、職業訓練、社会人再教育、生涯学習といった様々な役割を担うようになった。
3. 入学条件は高等学校を卒業していること、または18歳以上であることであり、広い門戸を持つ。また、州や連邦等政府の助成金により、4年制私立大学の10分の1、4年制公立大学の半分以下という低い水準の学費を保っている。コミュニティカレッジをモデルの1つとして作られたとされる日本の短期大学に比べ、数多くの学科が選択できる。また、様々なカリキュラムを持ち、4年制大学編入のための準備期間、専門知識・技術の取得、生涯学習・自己啓発、娯楽という幅広いニーズに対応している。

2000年春学期のサンタモニカコミュニティ・カレッジ生の入学目的をみると、「準学士号を取得し大学へ編入」が33%、「準学士号を取得せずに大学へ編入」9%、「一般教養の取得・興味」14%、「スキルアップ・キャリアチェンジ」6%、「未定」15%、「その他」23%となっている。
4. コミュニティカレッジでは、一般課程と専門課程を修了すると準学士号(A.A.Degree)を取得できる。これは日本の短期大学卒業に相当するが、学科数が非常に多く、専門知識や技術の取得に役立っている。1996~1997年の全米A.A.Degree修了に関し、上位5学科をみると、普通科、医療科(薬学、看護、バイオテクノロジー等)、ビジネス科、エンジニアリング科、警察科となっている。

また、専門課程のみを修了すれば、修了証明書(Certificate)を取得できる。Certificate取得者の中には、一旦仕事についてキャリアを積んだ後に、準学士号、4年制大学へのステップアップを目指す者も多い。1996~1997年の上位5学科は、医療科、ビジネス科、整備科、警察科、製造工業科となっている。
5. サンタモニカコミュニティカレッジは、1929年の創立であり、現在学生数29千人、

スタッフ数1700人の規模である。4年制大学への編入率が高く、UCLA や UC バークレー等で知られるカリフォルニア大学への編入率は最も高い。また学力の高さと温暖で治安の良い土地柄にひかれ、留学生の数は全米で最大を誇っている(現在、100カ国以上から2600人が在籍)。

また、エンターテインメントとマルチメディア関連の幅広い実践的な授業を提供する目的で、Academy of Entertainment & Technology が1997年に設立されている。

6. コミュニティカレッジは、コミュニティ全ての人の様々な教育の場として、重要な役割を担っている。時代のニーズに応じた職業訓練や生涯教育のあり方との関連で、我が国も参考になる点が多い。

(日本政策投資銀行 ロスアンジェルス事務所 浅川光子)

はじめに

米国では、成人してからも働きながら学校へ通う人は多い。米国は、何歳からでも思い立ったら明日からでも、勉強を始められる門戸の広い教育システムを築きあげている。中でもコミュニティカレッジは、その名の通りコミュニティの為のカレッジである。年齢に関係なく、コミュニティの誰もが学べるようにカリキュラムを整備し、学費を設定している。単なるコミュニティセンター、カルチャーセンターの場に留まらず、教育の場として重要な役割を担っている。

本論は、米国のコミュニティカレッジの概要について具体的に紹介するものである。第1章では、コミュニティカレッジの概要と役割について、米国大学システムに占める位置付け、歴史的な経緯、具体的なカリキュラム、を踏まえながら解説する。第2章では、カリフォルニア大学への編入率が最も高く、また全米で最大数の留学生在籍しているサンタモニカコミュニティカレッジを紹介する。第3章では、サンタモニカコミュニティカレッジ卒業生(筆者)の体験談を紹介する。

第1章 米国コミュニティカレッジの概要と役割

1. 米国の大学教育

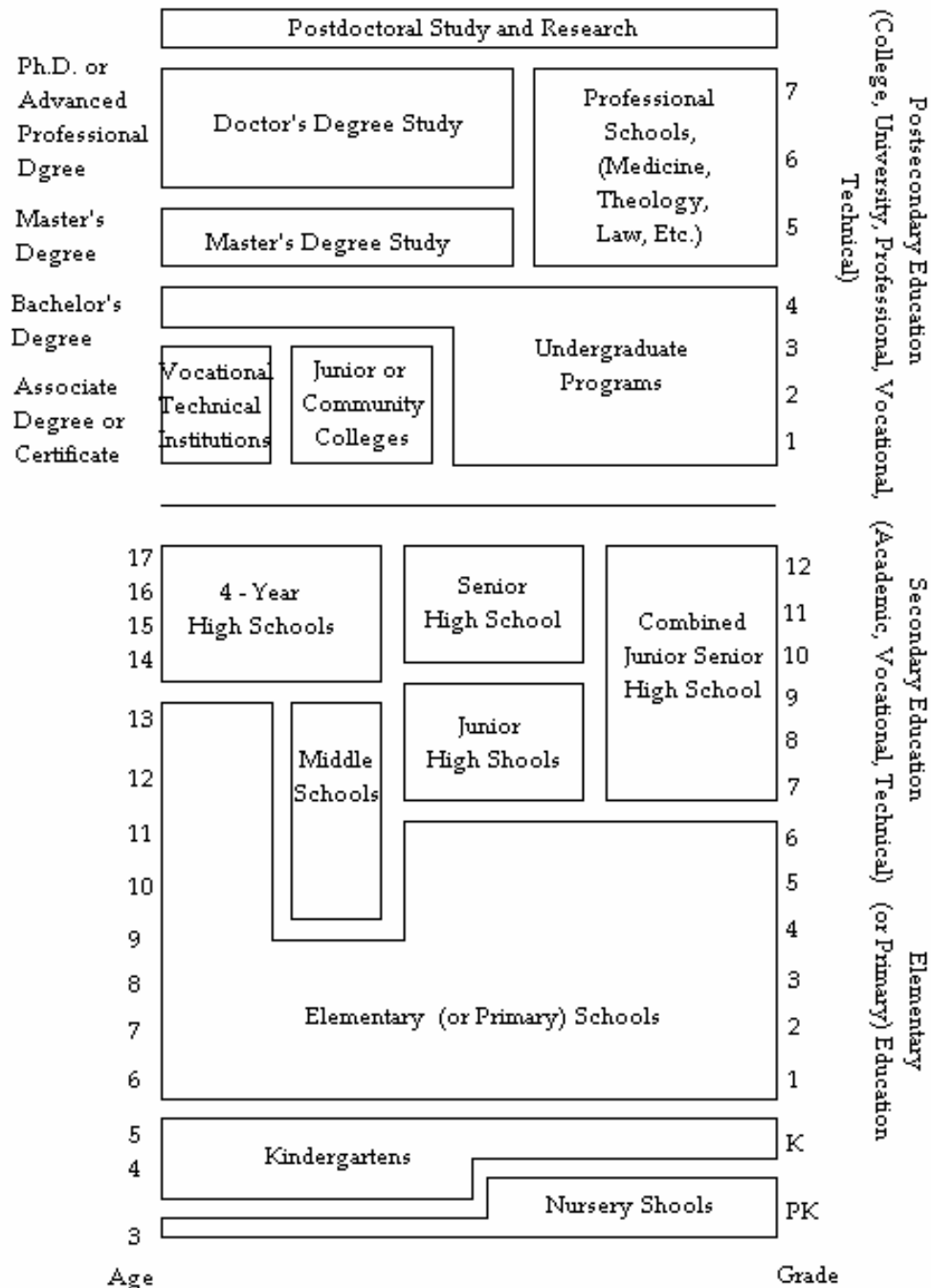
米国の教育は小学校の教育にあたる elementary、中学・高校の教育にあたる secondary、高校卒業後の教育にあたる postsecondary の3つの教育レベルにより構成されている(図表1参照)。大学教育は postsecondary にあたる。アメリカの大学への入学には、日本の大学入学試験にあたるものではなく、SAT(Scholastic Aptitude Test)、ACT(American College Test)、ACH(Achievement Test)といった民間の教育テスト会社が実施する試験の結果の他、課外活動やボランティアといった経験やエッセイ等が考慮される。選考の際に何を一番重視するかは各大学により異なる。しかしコミュニティカレッジの入学は、特別なプログラムを除き、高校課程を終了しているか、18歳以上であれば無試験で入学することができる。また日本と異なり、4年制、2年生大学共に入学時に専攻学科(major)を決める必要はなく、一般課程や専門課程を学びながら決めることができる。

2. 米国の大学

1999年度の米国の大学数は4070校で、そのうち4年制大学が2343校、2年制大学は1727校となっており、4年制大学が約6割を占める(図表2参照)。コミュニティカレッジは1163校あり(分校を含めると1600校)約3割を占める。4年制大学では私立、2年制大学では公立がそれぞれ43%、26%と多い(それぞれ全大学数に占める割合)。しかしながら大学入学者数では、4年制公立大学と2年制公立大学の割合が多くそれぞれ40%、36%を占める(図表3参照)。米国では、フルタイムの学生、パートタイムの学生という呼び方がある。一般的に、1学期中に12単位以上の授業を受ける生徒をフルタイムの学生、12単位以下の授業を受ける生徒をパートタイムの学生と呼ぶ。パートタイムの学生は主に通常勤務の仕事を持っているかそれに近い雇用形態で働いている学生が多い。パートタイムの学生が42%を占めていることも、米国の大学の特徴の一つである(図表6参照)。

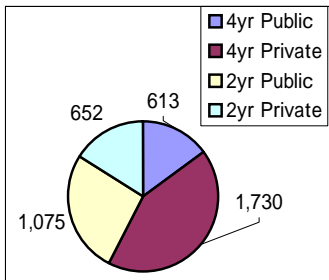
一方、日本における高校卒業生の主な進学先を見てみると、学校数では専修学校が3,551校と多く、全体の72%を占める(図表4参照)。次に私立大学、私立の短期大学と続き、それぞれ15%、11%である。しかし進学者数を見てみると、私立大学が最も多く191万人で、全体の52%を占める(図表5参照)。

(図表1) 米国の教育システムの構造



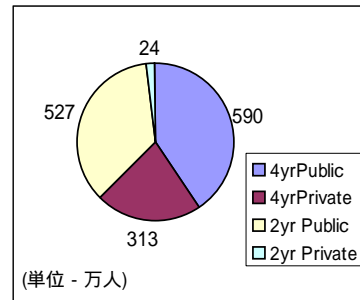
出典：U.S. Department of Education

(図表2) 98/99年米国大学数
(4,070校)

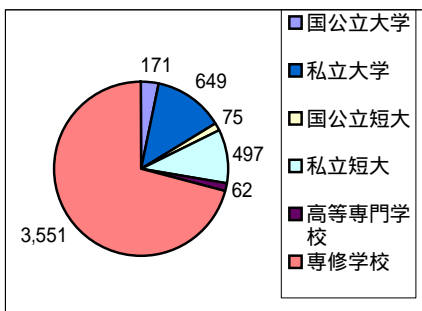


出典：U.S. Department of Education

(図表3) 98年度 米国大学進学者数
(1,454万人)

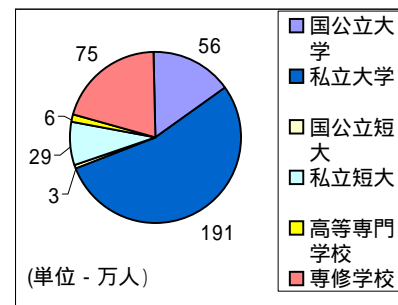


(図表4) 2000年日本における
高校卒業後の主な進学校数(5,005校)



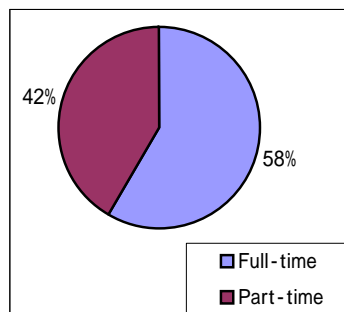
出典：文部科学省ホームページ

(図表5) 2000年学生数(360万人)



*専修学校生には、中学卒、大学卒生も含まれる。

(図表6) 米国パートタイム学生の割合



出典：U.S. Department of Education

3. コミュニティカレッジの歴史

コミュニティカレッジの歴史は 1901 年、イリノイ州シカゴで設立されたジョリエットジュニアカレッジ(Joliet Junior College)までさかのぼる。当時は、一般教養の教育に焦点が当てられていた。1920年代に入り、高校を卒業しても職に就けないあるいは地元で上級学校がないため進学できない青年を受け入れる場として、発展し始めた。1930年代の大恐慌時代には、失業者の職業訓練を目的としたプログラムが始まった。1944年に GI Bill of Rights (兵隊憲章) という、第二次世界大戦から復員、帰国した軍人に対し援助する法律が施行された。この法律には、政府が帰還兵の学費を免除する条項が含まれていた為、戦後の大学進学率が急激に増加した。1948年、当時大統領であったトルーマンは、無料、もしくは安い学費で学べるカルチャーセンター的役割を持った、地元が運営する公共カレッジのネットワーク作りを提案した。これをきっかけにして多くのコミュニティカレッジが開講し、またそれまで呼ばれていたジュニアカレッジに替わりコミュニティカレッジという名称が一般的になっていった。1965年には高等教育法が成立した。これによりコミュニティカレッジは飛躍的に拡充し、全国規模のネットワークが確立した。ベビーブーマー世代が高等教育を受ける時代が到来すると、さらに入学者数が加速的に増加した。こうして、1960年よりコミュニティカレッジは増えつづけている。

4. コミュニティカレッジの役割

コミュニティカレッジの役割については以下に集約できよう。

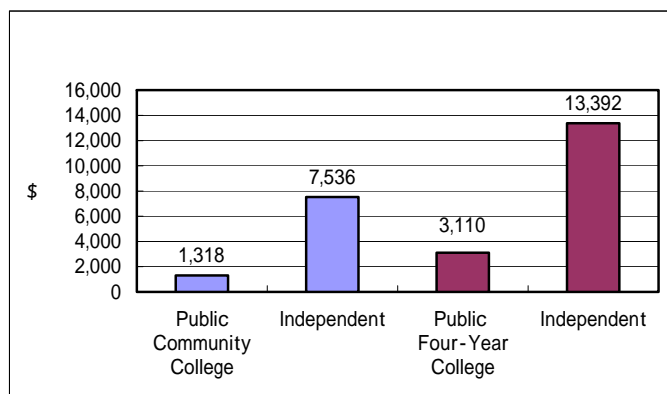
- 4年生大学への準備期間
- 職業訓練、専門知識の取得
 - ・準学士号(Associates of Art Degree)
 - ・修了証明書(Certificate)
- 生涯学習、自己啓発
- スキルアップ

(1) 4年生大学への準備期間

前述のように、コミュニティカレッジは高校課程の修了という条件だけで入学でき、その門戸は広い。また、学費は非常に安く私立の4年制大学と比較して約10分の1、公立の4年生大学と比べても半分以下の水準である(図表7参照)。コミュニティカレッジで一般教養を学んだ後に4年制大学に編入(トランスファー)するケースが生じてくる。即ち、大学へ単位の移行が可能で一般教養を学んだ後に4年制大学の第3学年に編入し、専門課程は4年制大学で学ぶ。

こうした学生は多い。また広い講堂で100人以上の生徒と共に講義を受ける4年制大学と異なり、コミュニティカレッジは多くとも1クラス40人程度である。このため教師とのコミュニケーションを密に取ることができ、大学での勉強に欠かせないレポートの書き方やスピーチ、プレゼンテーション等を効率よく習得できるというメリットがある。コミュニティカレッジで経験してから4年生大学へ編入する生徒が少なくないのはこうした理由による。

(図表7) 97/98年度 米国大学の平均授業料



出典：American Association of Community Colleges

(2) 職業訓練、専門知識の取得 (図表8参照)

準学士号 (Associates of Art Degree)

コミュニティカレッジでは様々な学科(major)があり、準学士号(Associates of Art Degree)は、各コミュニティカレッジが規定する一般課程と専門課程を修了すると取得できる。これは日本の短期大学卒業と同等のものである。コミュニティカレッジは日本の短期大学の一つのモデルになったとも言われている。しかし、日本の短期大学と大きく異なる点として、学科数が多いことが挙げられる。それぞれの分野を網羅した普通科の他に、ビジネスやコンピューター、芸術、ファッション、美容、ダンス等、多岐にわたる。入学時に学科を決める必要が無いため、学生は、自分が将来どういった分野に進みたいのかを、実際に学びながら決めていくことが出来る。学科を決めた後も、専攻外の分野を学ぶ事もできる為、例えば、専攻学科はコンピューターだが服飾デザインも同時に学ぶ、という事が可能である。

修了証明書 (Certificate)

専門課程の単位を修了すれば(一般課程を省いても)、修了証明書を取得することができ

る。米国で専門職に就く場合、その分野での職業経験がどれだけあるかが採用の際の重要なポイントとされる。転職がステップアップとされる米国では、経験と実績がある人は収入の良い会社に転職していくが、経験が無い者は良い就職先を探すのが難しい。その為、専門課程を修了し、インターン(実習生)として、無償あるいは低賃金で仕事の経験を積み、仕事が安定してから徐々に準学士号、あるいは4年制大学編入の為に一般課程を勉強する生徒も多い。

(図表8) 準学士号(A.A. Degree)及び修了証明書(Certificate)の上位10学科
(1996-1997年)

Associate of Arts (A.A.) Degree	
Liberal/general studies & humanities	普通科
Health professions & related sciences	医療科(薬学、看護、バイオロジー等医療全般)
Business management & admin. Services	ビジネス科(ビジネス全般)
Engineering-related technologies	エンジニアリング科
Protective services	警察科
Mechanics and repairs	整備科
Education	教育科
Visual and performing arts	芸術科(美術、芸能等芸術全般)
Multi/interdisciplinary studies	自己啓発科(様々な分野を勉強する)
Computer and information sciences	コンピューター科

Certificate	
Health profession & related sciences	医療科(薬学、看護、バイオロジー等)
Business management & admin. Services	ビジネス科(ビジネス全般)
Mechanics and repairs	整備科
Protective services	警察科
Precision production trades	製造工業科
Vocational home economics	家政科
Personal and miscellaneous services	サービス科
Engineering-related technologies	エンジニアリング科
Construction trades	建設科
Transportation & material moving workers	運転士科(バス、電車、飛行機等)

出典：American Association of Community Colleges

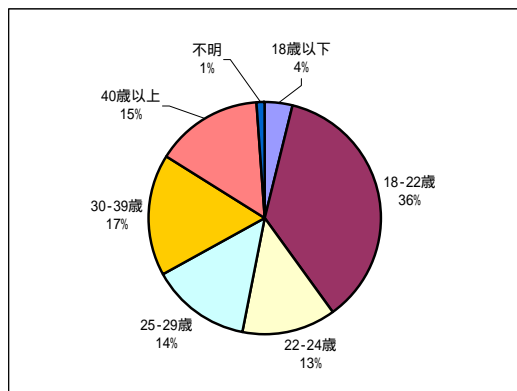
3. 生涯学習、自己啓発

コミュニティカレッジは、就職の為に技術の取得や大学進学の前準備期間、といった機能を果たしているだけでない。地元コミュニティとの密接に関わっているため、生涯学習や自己啓発の場という機能も持っている。シニアの為にプログラムを用意しているカレッジもある。

4. スキルアップ

コミュニティカレッジは日本の大学と比べて、より柔軟な運営を行っており、学生の選択の幅も大きい。即ち、1クラスからの受講が可能である、朝7時から夜10時まで広い時間帯で授業が行われている、週末にもクラスを開講している、などの柔軟性を有している。このため、仕事を持ちながら授業を受けることが可能となる。コミュニティカレッジの生徒の年齢を見ると、全体の46%は25歳以上で占められている(図表9参照)。

(図表9) 年齢別によるコミュニティカレッジの学生の割合



出典：American Association of Community Colleges

5. コミュニティカレッジの財政

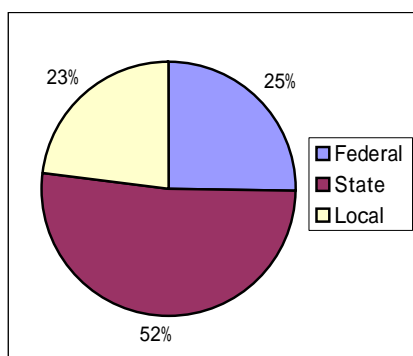
コミュニティカレッジの主な収入は市、州、そして連邦の助成金である。一般に市や州からの助成金が高いと授業料が安いとされている。カリフォルニア州は全米50州の中で授業料が最も安い。最も高いニューハンプシャー州の6,035ドルに比べて、カリフォルニア州の750ドルは実に8分の1である(図表10参照)。加州は、高等教育の普及に力を入れていることが窺える。助成金の割合に関し、全米の2年制公立大学と加州のコミュニティカレッジとを比較してみると、前者は連邦政府の割合が52%と高いが、後者はローカル、つまり地元からの助成金が46%と高くなっている。(図表11、12参照)。

(図表 10) 97/98年 主な州によるコミュニティカレッジの授業料

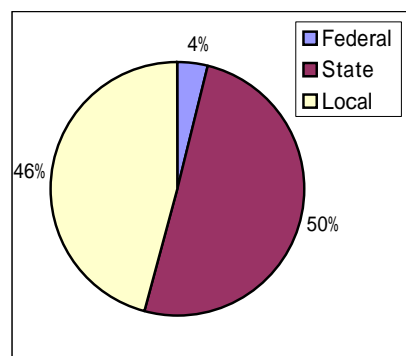
州	準学士取得にかかる授業料
アラスカ州	3,750ドル
カリフォルニア州	750ドル
ハワイ州	1,745ドル
マサチューセッツ州	4,562ドル
ニューハンプシャー州	6,035ドル
ニューヨーク州	5,095ドル
ペンシルバニア州	4,111ドル

出典：U.S. Department of Education

(図表 11) 1996年度米国2年制公立大学の
助成金の割合



(図表 12) 99/00年加州
コミュニティカレッジの助成金の割合



出典：U.S. Department of Education、California Community College Chancellor's Office

第2章 サンタモニカカレッジ (Santa Monica College) にみる

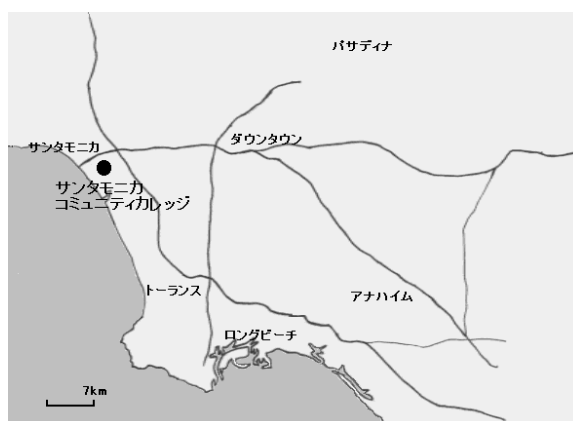
コミュニティカレッジの役割

先に述べたように、コミュニティカレッジは、大学教育のみならず地域に根ざした教育提供の場としての機能も果たしている。次にカリフォルニア州サンタモニカ市にある、サンタモニカコミュニティカレッジを例にとり、コミュニティカレッジの具体的なイメージを紹介していく。

1. 概要

サンタモニカコミュニティカレッジは、サンタモニカビーチから3キロ程の住宅地の中に位置しており、大恐慌が起きた1929年に創立された。創立時は153人だった生徒が現在は29000人にもものぼっている。スタッフ数は1700人で、4つのキャンパスを有するに到っている。15万3千7百平方メートルの敷地内にはコンピューターラボや図書館、スポーツジムが立地している。ロサンゼルス大地震で崩壊したサイエンスビルは1999年に再建された。また独自に公共ラジオ局も持つ。

同カレッジは4年生大学への編入率が高く、UCLA や UC バークレー等で知られるカリフォルニア大学への編入率は、州内のコミュニティカレッジで随一である(図表13参照)。ちなみに、サンタモニカカレッジから UC アーバイン校へ編入した学生によると、授業のレベルは両者間の差はないということである。このような学力の高さとサンタモニカという比較的治安の良い場所柄もあり、留学生の数は多い。現在、100カ国以上から集まった2600人もの留学生が在学中であり、全米で最大数を誇っている。



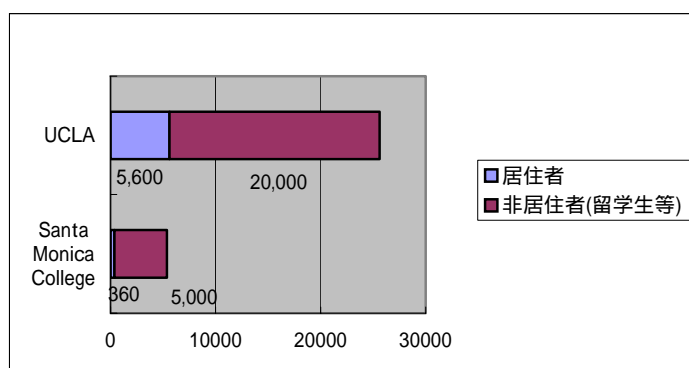
(図表 1 3) 加州コミュニティカレッジのカリフォルニア大学への編入状況
(1998-1999年)

コミュニティカレッジ	生徒数
Santa Monica College	632
Santa Barbara City College	542
Diablo Valley College	470
DeAnza College	396
Orange Coast College	351
San Diego Mesa College	269
Pasadena City College	253
City College of San Francisco	246
Riverside Community College	246
Cabrillo	241

出典：California Postsecondary Education Commission

授業料は、カリフォルニア州居住者は1単位11ドル、州外や海外からの生徒は1単位152ドルであり、州民が優遇されている。ちなみに州居住者は1年以上州内で居住した者である(図表14参照)。1授業あたりの単位数はクラスによって異なるが、平均すると3単位である。尚、加州知事は10月、市民権のない移民の子女でも、州内の高校に3年以上在籍し卒業した場合、加州居住者と同額の授業料でコミュニティカレッジ及び一部の州立大学へ通う事を許可する法案に署名した。

(図表 1 4) 年間の学費 - サンタモニカカレッジと UCLA の比較



出典：Santa Monica College Home Page, U.C.L.A Home Page

サンタモニカカレッジに通う約4割が、「4年制大学への編入」を考えており、入学目的の中でトップである。次に「一般教養の取得、興味」が続き、12~14%である。「スキルアップ、キャリアチェンジ」を目的とする学生は6%である(図表15参照)。

(図表15) サンタモニカカレッジ生の入学目的

	2000年春学期	1999年秋学期	1999年春学期	1998年秋学期
準学士を取得し大学へ編入	33%	34%	32%	34%
大学へ編入(準学士の取得なし)	9%	8%	9%	10%
一般教養の取得、興味	14%	13%	14%	12%
スキルアップ、キャリアチェンジ	6%	6%	6%	6%
未定	15%	15%	16%	16%
その他	23%	24%	23%	22%
受講者数	26,604	27,777	25,402	25,899

出典：Santa Monica College Statistics

2. カリキュラム

サンタモニカカレッジでは、年齢や目的に合わせた様々なプログラムを提供している。ここでは、先に述べたコミュニティカレッジの4つの役割に沿ってプログラムを紹介する。

【4年生大学への準備期間】

□ Scholars Program

志望する4年制大学に確実に入学したい生徒の為にプログラムである。このプログラムに指定されたクラスで優秀な成績を収めると編入(トランスファー)への考慮が優先される。1クラスあたりの生徒数を25人に抑え、教授からの指導の他にチューターと呼ばれる主に学生から成る指導員からの補習を受けることも出来る。ただしクラスのレベルは非常に高く、プログラムを受ける為の資格として、GPA(Grade Point Average - 成績の平均値)や語学力、エッセイ等が考慮される。

【職業訓練、専門知識の取得】

□ Associates of Arts Degree、Career Certificates、Certificates of Completion

サンタモニカカレッジでは準学士号(Associates of Arts Degree)の他、修了証明書を取得することが出来る。準学士号は、学科により多少の差はあるが、一般課程と専門課程をあわせて平均60単位の修了をもって取得することができる。学科数は49ある。修了証明書(Career

Certificate)は、一般課程を除いた専門課程のみを修了した人に贈られる。単位数は18~40とバラエティに富んでいる。学科数は40ある。18単位以下の専門課程の修了で取得できるCertificate of Completionも用意されている。学科数は7である(参考資料1、2参照)。

□ Academy of Entertainment & Technology

1997年に建設されたこの施設は、メインキャンパスより2キロ程離れたマルチメディアや映像関係の会社が軒を連ねるエリアにある。ここではエンターテイメントとマルチメディア関連の幅広い授業を提供している。即ち脚本の書き方、エンターテイメントに関する法律、コンピューターアニメーションの作成・研究等の授業が用意されている。コンピューターアニメーションとインタラクティブメディアという2つの学科が設けられており、修得後直ちに実社会で役立つ実践的カリキュラムとなっている。修了証明書や準学士号を取得できるプログラムではあるが、他の学科と異なり誰でも入学可能という訳ではない。入学に際し、ウェブページやデッサン、アニメーション等の提出が求められ、選抜される。またこのプログラムには、ドリームウォークスやマイクロソフト、IBM、シリコングラフィックスといったIT・マルチメディア関連の88の企業や団体が顧問委員として参加している(参考資料3参照)。

【生涯学習、自己啓発】

□ Emeritus College

1975年に開講したこのプログラムはシニアを対象とし、160あるほとんどのクラスが無料である。クラスは美術、外国語、タイピング、健康学といったものまで多岐にわたる(参考資料4参照)。

(注) Emeritus - 名誉退職の意

□ Community Service Class

年齢や資格など一切関係なしに誰でも受講出来、受講料も居住者非居住者に拘らず一律である。生け花や風水などのクラスがあり、カルチャーセンター的な役割を持つ。成績はつかず、授業料は1クラス平均80ドルと一般のクラスに比べて割高である(参考資料5参照)。



Academy of Entertainment & Technology Building



Academy of Entertainment & Technology Building での授業風景

【スキルアップ】

□ Seek Program

働きながら4年制大学への編入を目指す人の為のプログラム。自分のペースで授業を受けることができ、3学年へ編入できるようプログラムが作成をされている。ほとんどの授業が夜に行われている。教師陣も働きながら学ぶ人を理解する人が選ばれている。編入計画や学習に対する不安を取り除くためのワークショップも用意されており、様々な工夫が施されている。

□ オンラインクラス (On-Line Class)

忙しい人やまとまった時間が取れない人、あるいはキャンパスまで通えない人の為に、インターネットを利用した授業を提供している。会計学、ビジネス、経済学など現在20のクラスが開講されている(参考資料6参照)。

なお、以上のプログラムは筆者が便宜上、目的別に分類しただけであり、必ずしも上記に分類された目的の為に作られている訳ではない。

参考までに、サンタモニカカレッジ卒業生の大学編入先の状況、準学士及び修了証明書を取得した学生が選択した学科の状況を示す資料を掲載する(図表16、17参照)

(図表16) 1996年度サンタモニカカレッジ卒業生の大学編入先

カリフォルニア州	公立	4年制	生徒数	242人
	私立	4年制		67人
州外	公立	4年制		26人
	公立	2年制		17人
	私立	4年制		13人
合計				365人

出典：UC, CSU, National Student Loan Clearinghouse

(図表17) 1999-2000年度サンタモニカカレッジ生における
準学士及び修了証明書の取得上位5学科

準学士 (Associates of Arts Degree)		修了証明書 (Certificates)	
Liberal Arts	727人	Child Development	48人
Business Administration	171人	Cosmetology	47人
General Science	132人	Graphic Design	15人
Regular Nursing	52人	Business Management	12人
Computer Information System	26人	Computer Animation	7人

出典：Santa Monica College Statistics



Academy of Entertainment & Technology Building 内のコンピューターラボ

第3章 あるサンタモニカカレッジ卒業者(筆者)の経験談

最後に、サンタモニカカレッジを卒業した(1999年度卒)筆者の経験を記すことにより、コミュニティカレッジの具体的なイメージを紹介する。

1. 多様な学生層

サンタモニカカレッジは留学生が多いということ、キャンパスを歩いたり、クラスを取ると実感する。メンバーの約1/3が留学生というクラスもある。大半は日本や韓国、台湾といったアジアからの学生である。その中でも日本人は多い。移民をしてきた人も多く、英語以外の言語がいたるところで飛びかっている。クラスの種類によって生徒の雰囲気は全く異なる。一般教養のクラスには高校を卒業したばかりといった感じの学生が多いが、ビジネスや経理など専門分野のクラスには、成人し仕事をしながらクラスを取っている学生が多い。夜間のクラスにはパートタイムの学生がたくさん受講しており、また専門分野、特にコンピューターに関する授業においては時間帯に限らず様々な年齢層の人たちが授業をとっていた。

車椅子を利用している人は米国では珍しくなく、何人かの学生をキャンパスで見かけた。キャンパスの建物にはすべてエレベーターがあり、また階段の横には段差のない坂がついている。障害者や体の不自由な学生を特別な目で見ると見る雰囲気を全く感じることはなかった。障害を持っていても不自由なく授業を受けることができる設備を備えている為、気兼ねすることなく、カレッジに通う事ができるからであると思われる。

2. 学期およびクラスのしくみ

サンタモニカカレッジは秋期と春期からなる2学期制である。春期は2月中旬から6月中旬まで、秋期は8月の末から12月の中旬までである。その他に冬期講習と夏期講習がある。留学生のように、1学期に12単位の取得が義務付けられているような生徒でも、冬期と夏期の講習は義務付けられていない。単位数はクラスによって異なるが、3単位というクラスが一般的である。秋期と春期は、1時間半の講義が週に2回というのが最も一般的なクラスである。美術やコンピューター、外国語等のクラスはほとんどが5単位のため、一回の講義が長い、あるいは週3回の講義となっている。冬期及び夏期の講習は、1ヶ月半という短い期間で秋期や春期と同じ内容の授業を行う為、1クラスが月曜日から金曜日まで毎日3時間、というハードなものである。1クラスか2クラスのみを取る生徒が多い。

入学時に専攻学科を決める必要がないので、勉強していく課程で、自分の得意な分野を見つける事ができる。どのクラスを取るかも毎学期毎に各人が決めていく。ただ、膨大な学科と授業数の中で、始めにどのクラスを勉強しておいた方が良いか、また4年制大学へ編入するため



ビジネスビルディング



サイエンスビルディング

に必要なクラスはどれなのか等、戸惑う事が多い。そのような場合、カウンセラーに相談する事が出来る。カウンセラーは、それぞれの生徒の目標や各クラスの難易度などを考慮し、バランスのよい授業の取り方を提案してくれる。学期の始めの2週間は、登録したクラスの変更や取りやめが可能であり、生徒たちはこの時期、登録をしていないクラスに出向いて講義を聴き、良い先生あるいは良いクラスを見つけて変更する事も多い。

3. 授業の進み方

一般的にクラスは、1学期の間に4つの大きなテストがある。また毎週小テストを行うクラスもある。宿題はほぼ毎日あるが、宿題に加えてレポート、プレゼンテーション、出欠がすべて成績に考慮される。クラスや教授によってばらつきがあるものの、3回欠席すれば授業についていくことは難しくなり、成績にかなり響く事となる。日々の勉強が勝負であり、図書館はいつも勉強をする学生で満員である。図書館は7時45分から9時45分まで開館している。

学生は全員積極的にクラスに参加している。学生同士の意見交換が熱を帯びて、授業が中断されるクラスもあるが、生徒の意見交換を重視する先生が多く、そのような場合議論が終わるまで待つことになる。またプレゼンテーションやスピーチを行うことが多く、留学生の悩みの種である。大多数のアメリカ人は緊張するそぶりを見せず、難なくこなしている。スピーチというクラスもあり、このクラスは4年制大学への編入を目指す学生には必修となっている。

ほとんどの教師は、1日のうちの何時間かを生徒から質問を受ける時間として充てているが、テスト前等は生徒で溢れ返り、なかなか割り込むことができないのが現状である。しかし、ほとんどの科目でチューターと呼ばれる個人教師が存在する。個人教師は、サンタモニカカレッジや4年制大学へ通う学生がアルバイトとして雇われている。各学科のビルにはチュータールームがあり、予約をすれば1人30分の時間割で授業で分からなかった部分などを教えてもらう事ができる。クラスによっては、チューターへの申し込みも授業態度として成績に考慮してもらえる事がある。

4. 教師陣について

サンタモニカカレッジの教師陣の質は高い、と評判である。UCLAや南カリフォルニア大学(USC)等から引き抜いているという噂があるが、実際筆者の取ったクラスのうち3人の教師が博士号(PhD)を持っていた。数学、英語、歴史等、一般課程の教師は教師畑一筋の人たちが多いが、コンピューターやビジネスなどの専門課程の教師には、一般企業で働いた経験を持つ人や、自らビジネスを起こし、ビジネスと教師の「二足のワラジ」という人が多い。

5 . クラス外での活動

学期に1度、4年制大学がキャンパスにブースを構え、学生を勧誘する日がある。州内はもちろん、フロリダ州やニューヨーク州などからも大学が集まる。学生は各大学の資料をもらったり、大学関係者から話を聞く事が出来る。同様に、企業が集まる日もある。前述のカウンセラーがいるオフィスには常時各大学の資料が置いてあるほか、全米の大学のデータベースを検索できるコンピューターが設置されており、生徒は自由に各大学の資料を閲覧することが出来る。

専門課程のクラスが多く行われる教室には、インターンやアルバイト等の張り紙が貼られている。キャンパス内にはジョブセンターがあり、フルタイムとパートタイムの両方の仕事を探すことができる他、レジュメ(履歴書)の書き方を指導してくれる。また、キャンパス内で働く学生も多い。前出のチューター(個人教師)の他、図書館やカウンセリングオフィス、入学手続きのオフィス、コンピューターラボ等、あらゆる場所で学生が働いている。ちなみに筆者はキャンパス内のブックストアで週3日、アルバイトを行っていた。クラスと教師名から必要とする教科書を調べたり、教科書や文房具の在庫管理を行ったりすることが主な業務であったが、ここでの経験は日々の授業と同様に得る物が多く、貴重な経験であった。

6 . コミュニティカレッジのあり方を物語る学生達

最後に、コミュニティカレッジのあり方を象徴している話で、締めくくりたい。筆者がカレッジに通っている時期に、毎日キャンパス内の図書館の同じ机で勉強しているアジアの女性がいた。高齢といった感じだが、分厚い本をいつも読んでいた。彼女は中国からの移民で、本国では看護資格を持ち職に就いていたが、米国でもう一度看護婦になる為に勉強を始めたものである。80歳からの一念発起である。また、70歳をかなり過ぎた男性が筆者と同じ学期に卒業した。高校卒業程度の勉強をすべて修了してしまった7歳の男子が、サンタモニカカレッジでいくつかの授業を取っている、という記事がカレッジ内の新聞に載っていた事もあった。日本であれば、全国紙で扱われるような学生達が、米国、とりわけコミュニティカレッジにはたくさんいるのだということを実感した。



ジョブセンター



授業風景(製図)

終わりにかえて

日本では長期にわたる不況のあおりで、これまで日本的経営の特徴と言われてきた終身雇用制が動揺してきている。総務省は、平成13年度8月の完全失業率は5.0%で7月と横ばい、完全失業者数は5ヶ月連続の増加であると発表した。ITバブルがはじけ人員整理を始めるIT関連企業が増加する一方、システムエンジニア等、専門知識を必要とする職種を大量に募集するという動きもみられる。即ち失業者があふれてきている一方で、企業側が必要な人材を確保出来ないというアンバランスな状況に陥っている。今後はますます、専門技術を持つスペシャリストが生き残っていく時代になっていくと思われる。自己の技術を磨き、経験を積み、転職を重ね、ステップアップしていくことがスペシャリストとなるための近道であるならば、そのスタイルは米国の労働形態そのままである。また、高齢化社会の到来に際し、充実した老後を過ごすうえで、生涯学習の果たす役割が大きくなってきている。こうしたニーズに対する確にこたえるシステム整備も重要である。

本稿では、アメリカの教育システムの中で重要な位置を占めるコミュニティカレッジについて、かなり具体的に紹介してきた。アメリカの労働市場は柔軟性があり、能力や技術を再訓練することにより、再就職や転職を行いやすい風土とシステムが存在する。コミュニティカレッジはそうした柔軟な労働市場を支える最も基本的なインフラとなっている。また、生涯学習や趣味・教養講座も楽しみながら地域との係りを深めていくうえでも重要な役割を果たしている。

コミュニティカレッジは、今後の日本が整備していくであろう様々なシステムに対して大きな示唆を与えてくれる。

(日本政策投資銀行 ロスアンジェルス事務所 浅川光子)

参考資料 1 - サンタモニカカレッジにおける準学士号

(Associates of Art Degree)の学科

- Accounting
- Administration of Justice
- Architecture
- Art
- Art History
- Auto Body Repair
- Automotive Technology
- Broadcasting -Programming and Production
- Broadcasting -Sales and Management
- Business Administration
- Child Development
- Cinema
- Computer Animation
- Computer Science - Business Applications
- Computer Science – Computer Programming
- Computer Science for General Transfer
- Cosmetology
- Dance
- Entrepreneurship
- Ethnic Studies
- Fashion Design
- Fashion Merchandising
- Fire Science
- Graphic Design
- Interactive Media, Level I
- Interactive Media, Level I
- International Business
- Journalism
- Liberal Studies
- Management/Leadership – Business
- Marketing
- Merchandising – Business
- Music
- Nursing – RN
- Office Assistant – General
- Office Assistant – Legal
- Office Management
- Photography
- Physical Education
- Production Leadership & Leisure Studies
- Respiratory Therapy
- General Science
- Speech
- Theatre Arts
- Tourism, Hospitality & Leisure Services
- Transfer AA
- Welding

参考資料 2 - サンタモニカカレッジにおける修了証明書

(Career Certificates, Certification of Completion)の学科

Career Certificates

- Accounting Clerk
- Accountant, Professional
- Administration of Justice
- Automotive Body Collision Repair
- Automotive Brakes & Front-End Alignment
- Automotive Exhaust Systems
- Automotive Mechanics Technology
- Automotive Transmission Repair
- Automotive Tune-Up & Diagnosis
- Business Computer Applications
- Fire Science
- Furniture Design
- Graphic Design
- Interactive Media, Level I
- Interactive Media, Level II
- Interiors Merchandising
- Interior Design Assistant
- International Business
- Management & Leadership
- Marketing
- Merchandising

- CAD Production and Design
- Child Development, Pre-School Teacher Associate
- Computer Animation
- Computer Programming
- Computer Science for Transfer
- Cosmetology
- Entrepreneurship
- Emergency Management
- Fashion Merchandising
- Fashion Design

- General Office Assistant
- Office Assistant – Legal
- Office Management
- Photography
- Production Management
- Recreation Leader
- Set Design and Art Direction for Film and TV
- Tourism, Hospitality, & Leisure Studies
- Welding

Certificates of Completion

- Clerical
- Computer Accounting
- Desktop Publishing
- Oxyacetylene, Automotive

- Computer Programming
- Web Page Creator
- Word Processing

参考資料 3 - サンタモニカカレッジ Academy of Entertainment

顧問委員の企業及び団体

- Academy of Motion Picture Arts & Science
- Alias/Wavefront
- AMC Theaters
- American Film Institute
- American Film Marketing Association
- Autodesk
- Blue Sky VIFX
- Books/Fleming Associates
- Bryston Ltd.
- Capitol Records
- Centropolis
- Cinesite
- Cyber Studios
- Digital Domain
- Digital Equipment Corporation
- Direct TV
- The Disney Channel
- Disney Online
- Dream Works, Inc.
- E Entertainment
- Eastman Kodak Co.
- Entertainment Recruiting Network
- Ethan Goldstine. Kadow.Company
- Filmboards
- Fox Children's Television
- Fox Television
- Geffen Records
- General Cinema Theaters
- GTE
- Image View
- Industrial Light & Magic
- Intergraph Computer Systems
- Interactive Agency
- Internet Outfitters
- Interplay
- KCET
- KCRW 89.9 FM
- Kinetix
- Live Entertainment
- Lucas Digital Ltd.
- Live Entertainment
- Lucas Digital Ltd.
- Lucent Technologies
- Malfer Multi Media
- Mattel Corp.
- MCA Recreation/Universal Creative
- MDG
- Meta Creations
- Metro Goldwyn Meyer
- Microsoft
- Miller & Kreisel Sound
- MTV
- New Line Cinema
- Novocom. Inc.
- Pacific Bell
- Pacific Ocean Post
- Paramount Pictures, Inc.
- Quantel

- Hollywood Entertainment Museum
- IBM
- Imagine Entertainment
- Santa Monica Studios
- S.E.S.I
- Shockwave Entertainment
- Silicon Graphics
- Skywalker Sound
- Softimage
- Sony Music Entertainment
- Sony Pictures ImageWorks
- Sound Advance
- Sun Microsystems
- Stewart Filmscreen Corp.
- Rhythm & Hues
- Rhino Records
- Saban Entertainment
- 3Com Corporation
- Todd-AO Studios West
- Twentieth Century Fox
- Universal Studios
- US Web
- Vtel
- Wacom
- Walt Disney Imagineering
- Walt Disney Pictures
- Warner Brothers Television
- Yes to Jobs, Youth Entertainment Summer

参考資料 4 - サンタモニカカレッジにおけるシニアプログラム (Emeritus College)の講座(2001年夏期講習より抜粋)

Arts & Crafts

- Drawing and Painting
- Painting: Drawing, Oil and Acrylic
- Watercolor
- Color & Design
- Sculpture

Automotive

- Auto Care and Repair

Computer Training

- Introduction to Typing on Computers
- Employment for Seniors
- Consumer Education

Horticulture

- Garden Tour

Human Development & Relation

- American Socialization
- Widow to Widow Support
- Changing Culture
- Interpersonal Relationships
-

Health & Conditioning

- Medical Topics-Health and Psychology
- Stress Reduction
- Yoga for Emeritus Adults
- "Post Stroke Support Group"
- Health & Conditioning

Home Arts & Maintenance

- Home Repair & Maintenance
- Sewing Lab

Language-Community Services Class

- Beginning Conversational French
- Conversational Spanish Intermediate

Literature & Writing

- Literature in Spanish
- Potpourri of French Literature
- Literature: The Great Novels
- Shakespeare

Literature & Writing

- Creative Writing
- Autobiography

Music, Performing & Appreciation

- Concert Band
- Intermediate Guitar
- Voice Training
- Piano and Theory

Political Science

- Analysis of Current Events

Theater Arts & Speech

- Verbal Communication
- Principles of Acting

参考資料5 - サンタモニカカレッジ Community Service Classes の講座
(2001 年秋期より抜粋)

Arts

- Illustrating Children's Books
- Painting in Watercolor
- Sculpting the Human Face
- Basic Photography
- Plumbing
- Beginning Landscape Design
- Beautiful Beads
- Elastic Jewelry Design
- Color Technique
- Beautiful Books by Hand
- Ikebana
- Professional Floral Design
- Beginning Decorative Furniture Painting
- Introduction to Feng Shui
- Fundamentals of Interior Design

Letters & Arts

- How to Succeed as a Writer
- The Art of Writing Comedy
- Beginning Spanish
- Intermediate Spanish
- Beginning Italian
- Beginning German
- Beginning Japanese
- Beginning Chinese
- TV Commercials & Acting Workshop
- Digital Video for TV, Cameras & the Web
- Yes, You Can Write a Song
- Violin Playing Together

Culinary Arts

- Cooking Basics Series
- Traditional Thanksgiving Menu

Business & Finance

- Earn Big \$\$\$ as a Freelance Bookkeeper
- Tax Workshop for the Small Business Owner
- Importing & Exporting
- Stocks-Understanding the Market

Recreation & Fitness

- Hawaiian Dance
- Beginning Yoga
- Recreational Volleyball
- Japan Karate Do Ryobu Kai
- Kickboxing

Children's College

- Basic Drawing for Young People
- Basic Photography for Kids
- Violin Introduction for Students
- Inline Skating for Kids

SMC Extension

- Reading Blueprints
- Instrument Pilot Ground Training
- Beginning Computer Skills-How to Use a PC
- Designing Web Pages

参考資料6 - サンタモニカカレッジオンラインクラスの講座
(2001 年秋期講座)

- Accounting Principles
- Intermediate Accounting
- Personal Income Tax
- General Human Anatomy
- Human Biology
- Fundamentals of Biology
- General Botany
- Introduction to Business
- Business Law
- Principles of Marketing
- Integrated Marketing Communications
- Management Principles
- Career Exploration- Animation and Interactive Media
- Computer-Aided Design and Drafting
- Appreciation of Music
- Introduction to Nutrition Science
- National and California Government
- International Politics

- General Chemistry
- The History of Animation
- Introduction to Computers with Applications
- Introduction to Computers Business Applications
- Database Management
- Advanced Database Management
- Introduction to Internet
- Introduction to Computer Systems
- Principles of Microeconomics
- Principles of Macroeconomics
- Reading and Composition
- Critical Analysis and Intermediate Composition
- Ethnic Literature of the U.S.
- Speed Reading and College Vocabulary
- History of Animation

参考資料

American Association of Community Colleges (<http://www.aacc.nche.edu/>)

California Community College Chancellor's Office (<http://www.cccco.edu/>)

Santa Monica College (<http://www.smc.edu/>)

Santa Monica College Fall 2001 Schedule of Classes

U.S Department of Education (<http://www.ed.gov/>)

総務省統計局、統計センター (<http://www.stat.go.jp/>)

文部科学省ホームページ (<http://www.mext.go.jp/>)

「アメリカを知る辞典」 (平凡社 斎藤真、金関寿夫、亀井俊介、岡田泰男監修)

羅府新報 (2001年10月13日付)

インタビュー先

California Community College Chancellor's Office

Mary El-Bdour

Aiden Ely

Kirsten Macintyre